

工場の立地 コンビナート	題材名	四日市公害の始まり	第1次
	学習目標	四日市公害の原因を知り、被害者の立場に立って考えることができる。	

指導の流れ

スライド はじめ～「第3コンビナート建設の動き」まで

導入	ステップ1 プレゼンを視聴する。 はじめ～第2コンビナート始	四日市公害の原因とそれによる被害を知る。
----	--	----------------------

展開	ステップ2 塩浜病院～体験してみよう 疑似体験をする。	四日市喘息の症状を疑似体験する。 ストローによる体験（気道が狭くなるということ） 悪臭の体験など 家族や周りの人も間接的な被害にあったことも知る。 看病、労働力喪失など
	ステップ3 キースライド「ずる休み」 ぜんそくに苦しむ子 意見を出し合う。 	周りの人々の被害者への差別感情を知り、話し合う。 ぜんそくの発作による消耗で欠席すると、「ずる休み」と言われる。 「ぜんそくがうつる」と言われる。 公害は、人々の心まで害を及ぼすことを知り、自分だったらどうかを考える。

まとめ	ステップ4 次時につなげる。 たばになって死ねというのか ～第3コンビナート建設	小学生の作文を読み上げてから、被害者たちの立ち上がりを学習することを学ぶ。 
-----	---	--

被害者と周りの 人々の関係	題材名	四日市公害裁判	第2次
	学習目標	裁判に立ち上がった人の怒りや無念さを考えることができる。	

指導の流れ スライド 「立ち上がった住民たち」～澤井さん登場前まで

導入	ステップ1 プレゼンを視聴する。 立ち上がった住民～ 裁判の争点（精選して活用	コンビナートが新たに作られることを知る。 被害者たちの気持ちを考える。
----	--	--

展開	ステップ2 裁判のロールプレイをする。 。 裁判の始まり～とどかない	原告被告の立場を明らかにして、裁判の一場面をロールプレイを行う。（原告、被告の主張 動物実験、風洞実験） 原告中村さんの怒りを知り、この裁判に足りなかったものを考え
	ステップ3 意見を出し合う。 キースライド「裁判所では 周りの声」	裁判を通じて、法律論や数値が大切にされ、被害者の思いや気持ち がなかなか反映されなかったことを引き出したい。 今村さん、瀬尾さんの死 キースライド

とどかない被害者の声

裁判所では

磯津へけむりは届かない。「模型による実験」

煙はどれくらいの濃さで害があるのか？

数値や理論ばかりが議論される裁判

りっぱにでき上
がったコンビ
ナートを相手に
して、勝てるわ
けない。

まわりの
声

ぜんそくがうつる
から、あの子と遊
んだらあかん。

—誤解—

まとめ	ステップ4 次時につなげる。	力強い支援者が現れたことを知る。 子どもたちの感想と重ねられるとよい。
-----	-------------------	--

支援人 澤井余志郎	題材名	被害者を支えた人々	第3次
	学習目標	被害者を支え続ける人の生き様に触れ、自分を振り返ることができる。	

指導の流れ スライド 澤井さん登場～「不法行為はなかった」被告

導入	ステップ1 プレゼンテーションを視聴する。 澤井さん～とどけよう被害	<p>どんなことを支援してきたかを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・磯津通い、四日市公害と闘う市民会の会での活動 <p>入院している原告患者さんの声を届ける。 裁判に出席できないが、患者さんの思いを受け止め録音する。</p>
----	--	--

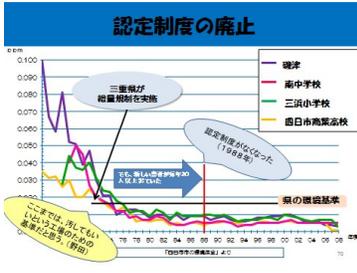
展開	<p>ステップ2 キースライドから、考える。</p> <p>公害反対活動をやめろ！～ 記録「公害」文集を作ろう とどけよう被害者の声</p> <p>「公害反対の活動を辞めろ！」</p>  <p>雇い主に逆らうな！ お前の給料はだれ が出している！</p>	<p>反対運動をやめろといわれた澤井さんは、どうしたでしょうか。 地区労に勤めていた澤井さんの状況を説明する。 記録「公害」が伝えたこと（被害者の声を大切にしたこと）を知る （実際のテープを使って聞き書きを体験してもよい。）記録活動は、今も続いて</p> 
	<p>ステップ3 意見を出し合う。</p>	<p>●澤井さんの活動について、思ったことや考えたことを□自分と重ねて考える。</p>

まとめ	<p>ステップ4 次時につなげる。 本人尋問～被告6社</p>	<p>裁判の結果とその後の澤井さんの活動について学習することを知らる。</p>
-----	---	---

記録人 澤井余志郎	題材名	被害者を支えた人々	第4次
	学習目標	ぜんそく患者ではない澤井さんが、苦しんでいる人たちの立場になって支え続ける姿から、自分の生き方について考えることができる。	

指導の流れ スライド 勝訴～最後

導入	ステップ1 プレゼンを視聴する。 勝訴～判決後の活動	裁判は、どういう性質のものだったのかを知る。 「まだありがとうとは言えない」 野田さんの思いに応えようとしていた澤井さんを知る。 野田さんの感謝の言葉と怒りの言葉
----	----------------------------------	--

展開	ステップ2 キースライドから、考える。 支援団体の弱体化～もう続けられない・・・～判決の意義 助けることはもうできない... ・判決20年のある日、支援することは、もう続けられないと思った。 ・吉村さんの転勤 吉村さんという強い後援があつての“助っ人”であつたわけだし、その後援がなくなつては、もう助っ人もできないと真剣にそう思い、これで助っ人は廃業しなければと思った。	もう続けられないと思った澤井さんは、どうやって乗り越えたのだろうか。 吉村さんの転勤で力をなくす澤井さんの思いを考える。 節目ごとの活動を続けてきたことを知り、澤井さんの思いや願いをキープ コンビナート工場の拡大  認定制度の廃止 
	ステップ3 意見を出し合う。	澤井さんの活動を振り返り、困っている人が隣にいたら、自分はどうするかを考える。 (澤井さんや野田さんに自分の気持ちを書こう。)
まとめ	ステップ4	語り部をしている澤井さんたちから話しを聞くことを知る。